



第306号

# HYOGOニュース

公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会  
〒651-0085 神戸市中央区八幡通4-1-38  
TEL 078-271-0255 FAX 078-271-0256  
E-mail info@hamt.or.jp

編集委員  
鳥居良貴 / 増井 裕 / 市丸加奈子 / 石野瑠璃  
小松敏也 / 松田武史 / 真田浩一 / 藤本宏巳

臨床検査情報センター  
URL <http://www.hamt.or.jp>

## 今月号の内容

- 平成27年度 定時総会開催 ..... 1~2
- 兵庫県健康財団 がん予防功労者表彰を受賞して ..... 3
- 《行事予定表》 ..... 4~5
- 《賛助会員コラム》・《各部局報告》・お知らせ・ご案内・《求人情報》 ..... 6~7

## 平成27年度 定時総会開催

### ー平成26年度事業・決算が承認されましたー

平成27年6月7日兵臨技研修センターに於いて定時総会が開催され、審議の結果すべての議案が承認されました。



林会員

#### <審議経過>

総会議長に林伸英会員（神戸大学医学部附属病院）、書記に長澤佳美会員（兵庫医科大学病院）が選出され、総会の資格審査では、当日出席27名、委任状出席1,270名、議決権行使書提出者263名で会員の過半数の出席を得て総会が成立し、議案審議が開始されました。

#### <第1号議案：平成26年度事業報告>

公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会は、臨床検査を通して県民に良質な医療を提供することおよび臨床検査に関する情報をわかりやすく県民に提供することをモットーとして活動しました。

平成26年9月20日、21日に神戸国際会議場で第54回日臨技近畿支部医学検査学会を日本臨床検査医学会近畿支部総会および日本衛生検査所協会近畿支部学術研究発表会と同時開催しました。総参加者は1,729名と多くの方に参加していただき臨床検査技師の学術や技術の向上に寄与したと思っています。また、公開講座では「再生医療における臨床検査技師の役割」と「iPS細胞の臨床応用」というテーマでご講演をいただき多くの県民の方が参加されました。

事業は公益事業を中心とした活動を行いました。行政や各団体との友好な関係を構築し、多くの委員会や協議会にも参加しました。

公益事業においては、県民の健康増進と疾病予防、公衆衛生の向上を目指した市民公開講座やがん検診を促進するPR活動等を展開し、各種の企画や行事に会員の派遣、協力を行いました。



精度管理調査事業は、臨床検査の精度を保証し、検査データを担保するために県下の施設を対象とした調査および指導を行いました。また、学術事業は臨床検査技師の資質の向上を目指すもので、会員の学術、技術レベルの向上を図りました。また、他職種を交えた研修会の開催を行うと共に、各協議会との連携研修会、県民参加型体験コーナー等を設けるなど幅広い活動を行いました。

会員相互の共益事業においては、組織地区活動を通じ、

会員相互の情報交換と技術や知識の向上を図るとともに会員の意見が技師会活動に反映され、組織の強化の推進に務めました。

広報活動の取り組みとして、当会活動を会員および一般の皆様にはわかりやすく伝達するため、各種広報媒体を活用した情報発信と効果的・効率的な啓発、取材活動を行いました。



それぞれの部局が行った事業について報告しました。

法人事務局：行政・関連団体等との対応、総会・理事会・常務理事会の開催、事務局および総務関係などを報告。

事業推進局：公益事業（県民に対して公衆衛生の向上及び臨床検査に関する普及啓発を目的とする事業）、精度管理調査事業（臨床検査の標準化調査及び精度管理を指導することで県民に信頼性の高い臨床検査データを提供することを目的とする事業）、学術事業（学術及び技術の振興を目的とする事業）を報告。

組織活動局：会員の資質向上事業（組織強化及び情報交換・共有化事業、新人研修会、渉外事業）、広報事業（当会の活動を県民への広報と機関紙及び会報発行を行い会員相互への情報提供、職業意識の共有化を図るため、各種広報媒体を活用した情報発信と効果的・効率的な啓発活動）など共益活動を中心とした事業を報告。

#### <第2号議案：平成26年度決算報告>

正味財産増減計算書、貸借対照表、財務諸表に対する注記、財産目録、備品目録、収支計算書、収支予算事業別区分経理内訳表（G表）、収支計算書に対する注記について報告。

#### <第3号議案：平成26年度監査報告>

26年度事業活動および経理について問題がなかったとの監査結果を報告。

議案審議のあと、理事会にて承認された兵庫臨技の「会員及び会費等に関する規程 第4章会費等 第8条および第9条」に明記されている入会金納入について、以下の報告がありました。

- ・新たに正会員として入会した兵庫県会員から入会金が納入されていないため、今後は徴収すること
  - ・同時に日臨技にも入会する場合は兵庫臨技の入会金は免除され、日臨技のみとすること
- また兵庫県会員のみを希望する方にはできる限り、日臨技にも入会するように勧めていく方針であることを確認されました。

定時総会に続いて表彰式典が行われ功労賞に余根田和弘会員（公立八鹿病院）、山本繁秀会員（姫路赤十字病院）が受賞されました。なお学術奨励賞を受賞された上霜剛会員（県立柏原病院）は、6月28日（日）丹波の森公苑で開催される第22回兵庫県医学検査学会にて表彰式典と受賞講演を行います。受賞された会員の皆様は今後ますますご活躍されますことをご祈念いたします。



このように当会の事業が活発に行えるのは、会員の皆様および兵庫県をはじめ、医師会等の医療職団体各位の協力のお陰であると深く感謝致しております。今後、ますます良好な関係の向上をお願いし、更に皆様方のご指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

## 兵庫県健康財団 がん予防功労者表彰を受賞して



上岡 英樹（神戸中央病院）

この度は、公益社団法人兵庫県臨床検査技師会（以下、兵臨技）のご推薦で、がん予防功労者として、平成27年度公益財団法人兵庫県健康財団会長表彰を賜りました。このような栄えある賞を拝受し、身に余る光栄と感謝いたしております。今回の受賞にあたり、ご推薦いただきました中町会長をはじめ兵臨技の役員の方々、諸先輩方ならびにご配慮とお力添え下さいました皆様方に心よりお礼申し上げます。

私は昭和63年に社会保険神戸中央病院（現JCHO 神戸中央病院）に就職し、臨床検査技師、細胞検査士としてがん細胞診断業務に28年間従事してまいりました。その間、兵庫県臨床検査技師会で学術部 病理・細胞検査研究班長を務め、細胞診を学ぶ人材の育成や教育、多くの研修会の企画や運営に携わるとともに、兵庫県細胞検査士養成講習会の講師を務め、後輩の育成に尽力いたしました。日本臨床細胞学会が協賛している子宮頸がん予防活動「子宮の日、LOVE49」キャンペーンにも参加させていただき、兵庫県下の地域住民のみなさまのがん予防啓発、検診活動に貢献させていただいています。

また、当院の方向性の一つとしても、院内の健診センターや検診車にて兵庫県下の地域住民のみなさまの健康診断に携わらせていただき、予防医学や早期発見の一助に貢献させていただいていると信じてやってまいりました。このように多年にわたりがん検診、細胞診断、教育活動に従事してきたことを評価していただいたと大変感謝しております。ただ、恐縮もしております。と申しますのは、私一人の力で成し得たことなど一つもなく、全てにおいて先達の功績を模範とさせていただき、諸先輩方や同僚、多くの関係者の方のご指導の賜物であることに間違いなからずです。そう考えると恐縮するどころか恥ずかしくなっております。

病理検査全般に言えることかもしれませんが、細胞診断業務は患者さま側からは見えません。採取された細胞を顕微鏡で観察し、評価する。その結果如何によってはその人の人生を変えてしまうかもしれません。そのような大事なことを私たちは委ねられています。一大決断力よりも、先輩方、先生方、スタッフの意見に耳を貸し、情報にも耳を傾け、総合的に判断できる柔軟性が要求されます。そしてそれは正確でなければなりません。そのためには基盤となる知識や経験はもとより、先端の技術や情報の習得も大切ですし、今後においてもそれらを吸収する意欲が必須かと思われまします。

今回の受賞を機に、さらに細胞診断業務の向上のために研鑽を重ね、また後進の育成にも努めてまいります。そして微力ながら患者さまのために細胞検査士としてお役に立てるように精進してまいります。

最後になりましたが、今日までご指導ご鞭撻をいただいた諸先輩方、諸先生方、職場の方々へ深く感謝申し上げます。ありがとうございました。



賛助会員

ヨリム [39]

TERUMO

テルモ(株)

## 「真空採血システムの発展とテルモの歩み」

テルモ神戸支店

由布 竜二

テルモは1921年に体温計を製造する小さな町工場として設立されました。当時、日本で使われていた体温計の多くはドイツからの輸入品でしたが、第一次世界大戦開戦により、輸入が困難となりました。そこで北里柴三郎博士をはじめとした医学者が発起人となり、優れた体温計の国産化をめざして設立された会社がテルモの始まりであります。テルモの社名は「テルモメーター：Thermometer」が由来となっています。

その後、日本においては1964年にガラス製体温計のノウハウを活かし、テルモより国内初のガラス製真空採血管の製造と販売が開始されました。東京オリンピックと同じ年で、50年前になります。

これまでの採血業務と大きく異なるため、真空採血システム導入には反対意見もありました。当時の先輩社員が毎日の早朝採血の時間に合わせて病院に出向き質問等に備える等、懸命な営業活動により徐々に真空採血システムの導入施設は増えていきました。

また、発売当時のゴム栓は、ガスバリア性のない天然ゴム製であったため、使用期限まで採血管内の減圧度を保持できるように缶詰包装でした。写真は、発売当時の真空採血管の包装容器です。



缶詰包装の採血管

今ではプラスチック製のベノジェクトII（フィルム栓）が主流となり、全国の医療機関様でも広くご採用をいただいております。

弊社は「医療を通じて社会に貢献する」を企業理念に掲げております。価値ある商品とサービスを提供し皆さまの信頼に応え、社会に貢献いたします。



発売当時のカタログ

## 各部局報告

組 織

第1回西播地区グループ研修会に参加して (5月15日)

伊藤 万由子 (姫路聖マリア病院)



宮尾先生

今回、初めて研修会に参加しました。働き始めてまだ1か月半の私に理解できるか不安でしたが、とても丁寧に説明していただき有意義な時間を過ごすことができました。講演は宮尾雅美先生(シスメックス(株))による「抗凝固薬と凝固検査～PT-INRについて説明できますか?～」でした。PT-INRは学生時代に

授業でさらっと習ったため、あまり理解できていませんでした。しかし、なぜ測定するのかなど基本的なところから教えていただき、測定意義等を深く理解することができました。今後もこのような研修会には積極的に参加し、知識を深めていきたいと思ひます。



## お知らせ

### 阪神・神戸地区合同施設責任者・連絡者会議 新人会員研修会ならびに施設交流会(新入会員歓迎会)のご案内

開催日：平成27年8月8日(土) 13:30～17:30

場 所：兵臨技 研修センター

内 容：13:30～14:30 施設責任者・連絡者会議

15:00～17:30 新人会員研修会(新入会員以外の参加も可)

1) 日臨技・兵臨技の紹介

2) 新人会員研修会

「検体検査の入り口 ～採血の基本～」

藤井 誠治 先生(兵庫医科大学病院)

「感染対策の予定」

講師未定(神戸大学医学部附属病院感染管理室)

参加費：500円(新入会員無料) 点 数：専門20点

尚、新人会員研修会の終了後、兵臨技主催 施設交流会(新入会員歓迎会)を開催しますので併せてご参加下さい。詳細はHP、チラシをご覧ください。

## ご案内

### 第35回 兵臨技精度管理調査の実施について

#### 申込方法、結果報告などが大きく変わります!!

臨床検査の標準化、施設間差の是正等を目的に、今年度も精度管理調査を実施いたします。本調査は会員施設だけを対象としておりません。是非とも多くの施設に参加いただきたくご案内申し上げます。

尚、今年度より、日臨技精度管理システム(JAMTQC)を導入しますので、申込方法、結果報告などが大きく変わります。内容、申込方法、参加費など詳細は案内またはHP等にてお知らせいたしますので、ご留意ください。

## 求人情報

\*詳細は求人先に各自お問い合わせください。

#### ●(医)神鋼記念会 神鋼記念病院

交 通：JR灘駅下車 徒歩7分

採用条件：正社員

業務内容：生理検査業務

連 絡 先：078-261-6711(人事 仲村)

#### ●(医)広瀬クリニック

交 通：市営地下鉄大倉山駅下車 徒歩15分

採用条件：臨時職員

業務内容：エコー(頸動脈、心、腹部)

連 絡 先：078-361-1235(広瀬)

#### ●(医)一陽会 服部病院

交 通：神戸電鉄粟生線恵比須駅下車 徒歩2分

採用条件：正職員

業務内容：検査業務全般

連 絡 先：0794-82-2550(総務課 藤岡)

#### ●神甲会 隈病院

交 通：阪急神戸線花隈駅下車 徒歩3分

採用条件：正職員

業務内容：主に生化学検査

連 絡 先：078-371-3721 内線9306

(臨床検査科科长 山尾)

#### ●(医)神鋼記念会 神鋼記念病院 健診センター

交 通：JR灘駅下車 徒歩7分

採用条件：正社員

業務内容：超音波検査

連 絡 先：078-261-6773(施設検診室 齋藤)

# 平成27年度(第55回) 日臨技近畿支部医学検査学会(ご案内) 一般演題(口演のみ)募集締切りせまる!!

会 期

平成27年10月17日(土)・18日(日)

会 場

大阪国際交流センター

テーマ

臨床検査から医療への主張

～点から線そして面へ、

臨床検査の可能性を求めて～

演題募集期間

平成27年5月1日(金)～6月30日(火)

ホームページURL

<http://www.osaka-amt.or.jp/kinki55/>

Eメールアドレス(学会専用)

kinki55@osaka-amt.or.jp



## 学術部 特別企画の紹介

細胞検査部門：教育カンファレンス

10月18日(日) 10:00～11:30

Theme「子宮内膜細胞診のスキルアップを目指して」

ねらい

子宮内膜細胞診は広く行われているにも関わらず、細胞判定が難しい材料である。子宮内膜細胞診の正診率向上のために良性病変、悪性病変、LBC処理材料の見方に分けて細胞判定のポイントを確認する。良性病変分野では、内臓増殖症や癌と似た細胞像を呈する良性内臓病変について解説し、スライドカンファレンス方式で個別のポイントを述べる。悪性病変分野では、内臓増殖症や高分化型の類内臓癌は細胞型に乏しいため細胞型のみでの判定は難しく、正診率の向上には構造異型を加味した判定基準の採用が重要である。この判定基準に基づいた悪性細胞の鑑別点と判定基準における問題点を述べる。LBC処理材料の見方では、BDシミュレーション法における、液状内臓細胞診での細胞観察のポイント、DSG式内臓細胞診に従って述べる。以上の内容を3人の細胞検査士を講師にお招きし、わかりやすく初心者の方も理解できる教育カンファレンスを予定している。

座長

江口 光徳 (宇治徳洲会病院)

水野 幸恵 (福井県立病院)

演者

1. 悪性と似た細胞像を呈する良性病変について  
小坂 聖子 (済生会野江病院 病理診断科)
2. Conventional標本における構造異型を加味した判定基準～正診率の向上のために～  
岩井 崇男 (滋賀医科大学医学部附属病院 病理部)
3. LBC検体処理材料の見方  
西川 武 (奈良県立医科大学附属病院 病理部)

一般検査部門：スライドカンファレンス

10月17日(土) 15:00～17:30

Theme 一般検査スライドカンファレンス

ねらい

尿、唾液、寄生虫、虫体成分などに出現する成分の鑑別法について、留意すべきポイントについて学ぶ。実際のルーチン検査における、簡便な検査と成分の鑑別や注意すべきポイントについて、参加者とディスカッションしながら学び、一般検査のレベルアップと検体管理を目的とした、参加型のスライドカンファレンスである。

座長

堀田 真希 (大阪大学医学部附属病院)

佐伯 仁志 (東近江総合医療センター)

演者

1. 堀 貴徳 (福井大学医学部附属病院)
2. 仲間 美乃 (京都桂病院)
3. 鈴木 恭子 (紀南病院)

一般検査部門：シンポジウム

10月18日(日) 9:00～11:40

Theme 尿検査から考える病態把握～尿沈渣検査の付加価値を高めるには～

ねらい

尿検査の結果について、見たままを報告していませんか？尿検査は疾患特異性は高くないものの、大きな病態を推測できるため、次に何の検査を実施するべきなのかを考えることができるスクリーニング検査として、非常に有用な検査である。しかし、その有用な検査でも、ただ結果を報告しているだけでは、その有用性が損なわれることもある。本シンポジウムでは、どのような検査結果を報告することが臨床にとって必要なのか、どのような点に注意し報告すべきなのかについて、検査結果から考えられる疾患と、類似疾患との鑑別点などを中心に学び、尿検査における付加価値とは何かを参加者全員で考え、これからの尿検査に必要なことについて討議を行う。

座長

大沼 健一 (神戸大学医学部附属病院)

小山 貴 (京都桂病院)

演者

1. 臨床に有用な赤血球形態情報の報告について考える  
堀田 真希 (大阪大学医学部附属病院)
2. 異型細胞の報告について考える  
佐伯 仁志 (東近江総合医療センター)
3. 尿中白血球や細胞の報告について考える  
北川 大輔 (奈良県総合医療センター)
4. 総合ディスカッション



胃粘膜萎縮を反映するペプシノゲン法とヘリコバクター・ピロリ抗体による胃がんリスク評価が、検診に有用との報告があります。

自動化学発光酵素免疫分析装置 SphereLight Wako用試薬

●体外診断用医薬品 承認番号21000AMZ00811000

スフィアライト ペプシノゲン I\*\*

●体外診断用医薬品 承認番号21000AMZ00812000

スフィアライト ペプシノゲン II\*\*

●体外診断用医薬品 承認番号22500AMX01843000

スフィアライト H.ピロリ抗体・J\*

汎用自動分析装置用試薬

●体外診断用医薬品 認証番号221AAAMX00133000

LTオートワコー ペプシノゲン I\*

●体外診断用医薬品 認証番号221AAAMX00134000

LTオートワコー ペプシノゲン II\*

[製造販売元]\*

和光純薬工業株式会社

大阪市中央区道修町三丁目1番2号

[製造販売元]\*\*

三洋化成工業株式会社

京都市東山区本町11-721

[問い合わせ先]

和光純薬工業株式会社

臨床検査部 カスタマーサポートセンター

TEL: 03-3270-9134(ダイヤルイン)

胃がんリスク評価(ABC分類)

	A	B	C	D
H.ピロリ抗体	陰性	陽性	陽性	陰性
ペプシノゲン	陰性	陰性	陽性	陽性
リスク	低			高